

- ☒生活支援☒見守り☐協議体
- ☒買物支援☐配達☐その他
- ☐移動支援☒居場所づくり

35

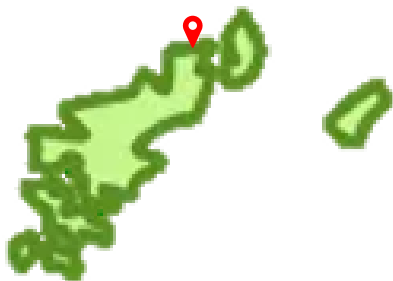
幾里はまゆう

龍郷町 保健福祉課



地域の概要

人口：166人
高齢化率：43.98%
生活の中で住民同士の繋がりによる助け合いがみられたり、集落行事がさかんで、子どもから高齢者まで一緒に参加されている。



取組のきっかけ

以前から、近隣の地域では見守り活動に取り組まれていたことをきっかけに、住民同士で自分たちの集落でできることを話し合い、見守り・生活支援を行う活動グループが発足し、現在はメンバー26名で活動を行っている。



取組の目的

- 高齢者の見守りや生活支援
- 高齢者の外出のきっかけや交流の場づくり
- 次世代と交流の場づくり
- 地域活性化



これまでの経緯

年・月	出来事
令和2年12月	活動に向けての話し合い
令和3年1月	住民主体で見守り・支え合い活動を行うグループが発足
	毎月1回定例会を開催し、活動報告や困りごとの共有しながら活動している。
令和5年4月	活動協力者が新たに4名加入
	ゆらい場の設置
令和6年4月	定期的に毎週金曜日（14時～16時）にゆらい処にて高齢者とお茶会を開催し、交流の場となっている。認知症の方や、男性高齢者の方の参加もあり交流できている。
令和6年4月	以前より取り組んでいる夜間火の用心、パトロールを継続して実施している
令和6年8月	80代高齢者宅、14世帯に七夕飾り、飲料水を配布。
令和6年12月	80代高齢者宅11世帯、正月用食料品、日用品配布



活動の概要

活動内容：生活支援（ゴミ出しや自宅の掃除）、ゆらい場「ゆらい処はまゆう」（毎週金曜日2時から4時迄交流の場として実施）、夜間火の用心、パトロール見守り、次世代との交流イベント、美化活動（公共トイレ掃除）



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 地域包括支援センター発行の「どうくさだより」にて活動の周知
- 世話焼きさん（地域福祉推進員）との情報共有

〔SCとしての役割〕

- 活動状況の把握・情報発信
- 地域が自発的に活動していることの把握・連携と協力体制づくり



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 高齢者とゆらい処でお茶会・交流をすることで外出のきっかけづくりができ、社会参加の場となっている。
- 子どもの下校に合わせて、声掛け、見守りができている。交流イベントの開催で地域に活気が出た。ゆらい処へ男性が参加しやすい雰囲気になった。見守ったり、見守られたりの支援活動に繋がった。

〔課題〕

以前からのおつきあいで移動支援等ができていたが、新規での依頼があった場合の今後の課題が予想される。